
YUTAKA
2008年3月期
決算説明会
2008年5月9日
株式会社ユタカ技研

ご説明内容

Ⅰ．2008年3月期 決算概況

Ⅱ．2009年3月期 見通し

Ⅲ．その他 事業状況

YUTAKA

2008年3月期
決算概況

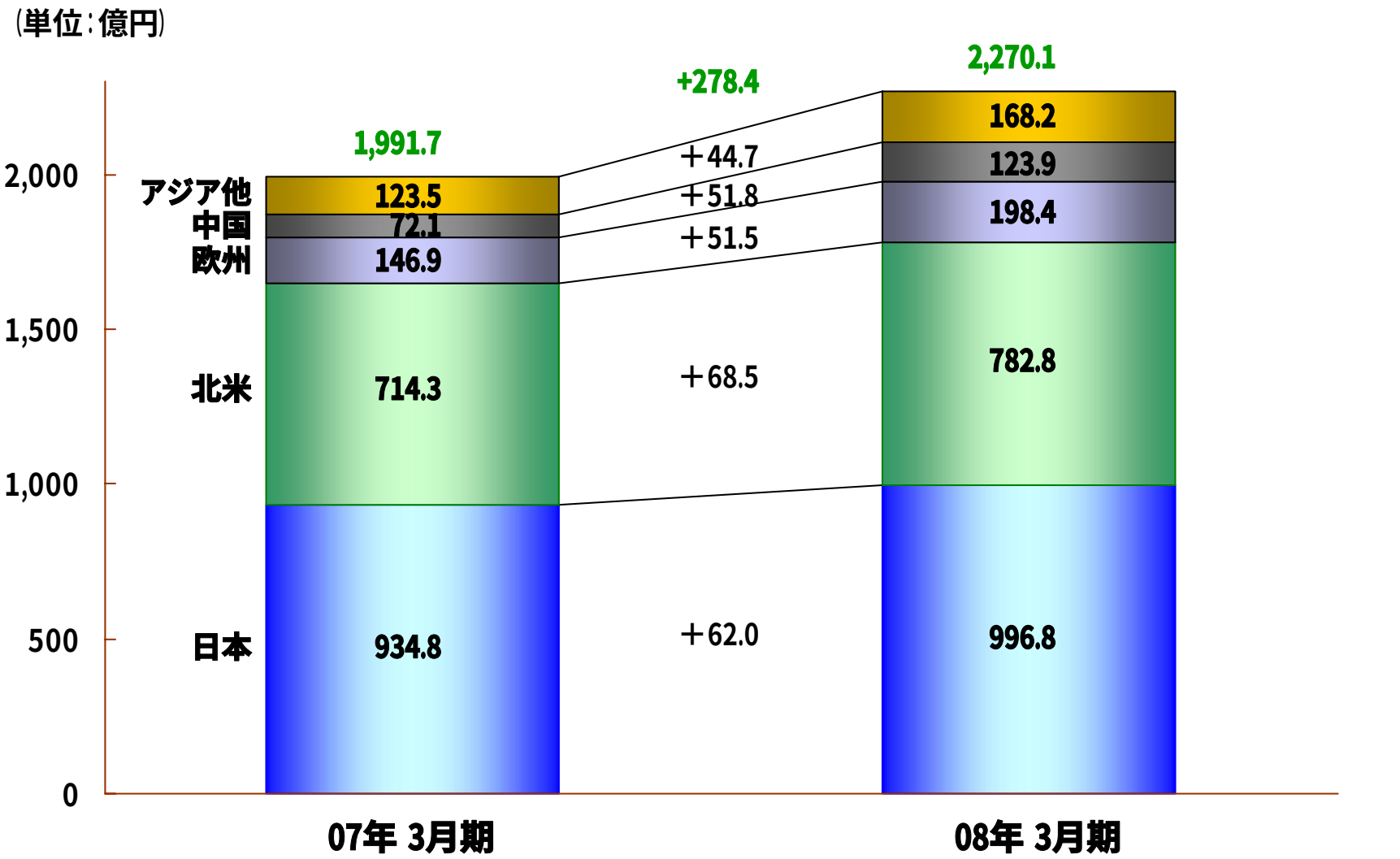
08年3月期決算概況 ＜連結＞

(単位：億円)

	07年 3月期	08年 3月期	前年同期比
売上高	1,991.7	2,270.1	14.0%
営業利益	82.3	87.5	6.3%
経常利益	91.1	85.7	△5.9%
当期純利益	55.0 ＊鈴鹿製作所の土地・建物減損△1.1含む	45.4 ＊製品補償費用△5.8含む	△17.4%
1株当り当期純利益	371.97円	307.20円	△17.4%
	($1=\117)	($1=\112)	

経常利益は減益したものの売上及び営業利益は増加

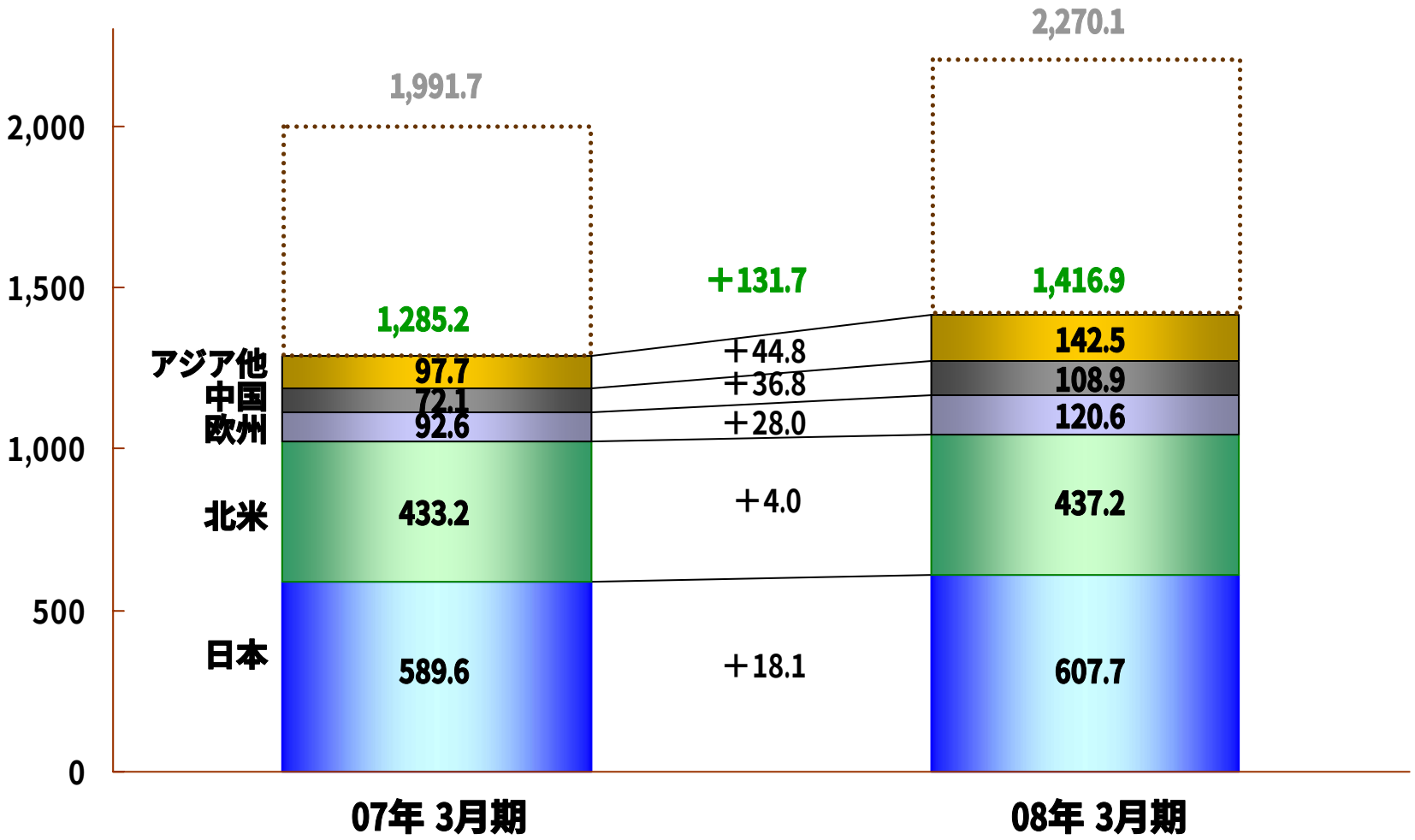
08年3月期決算概況 ＜連結＞　地域別売上高



全地域で増収

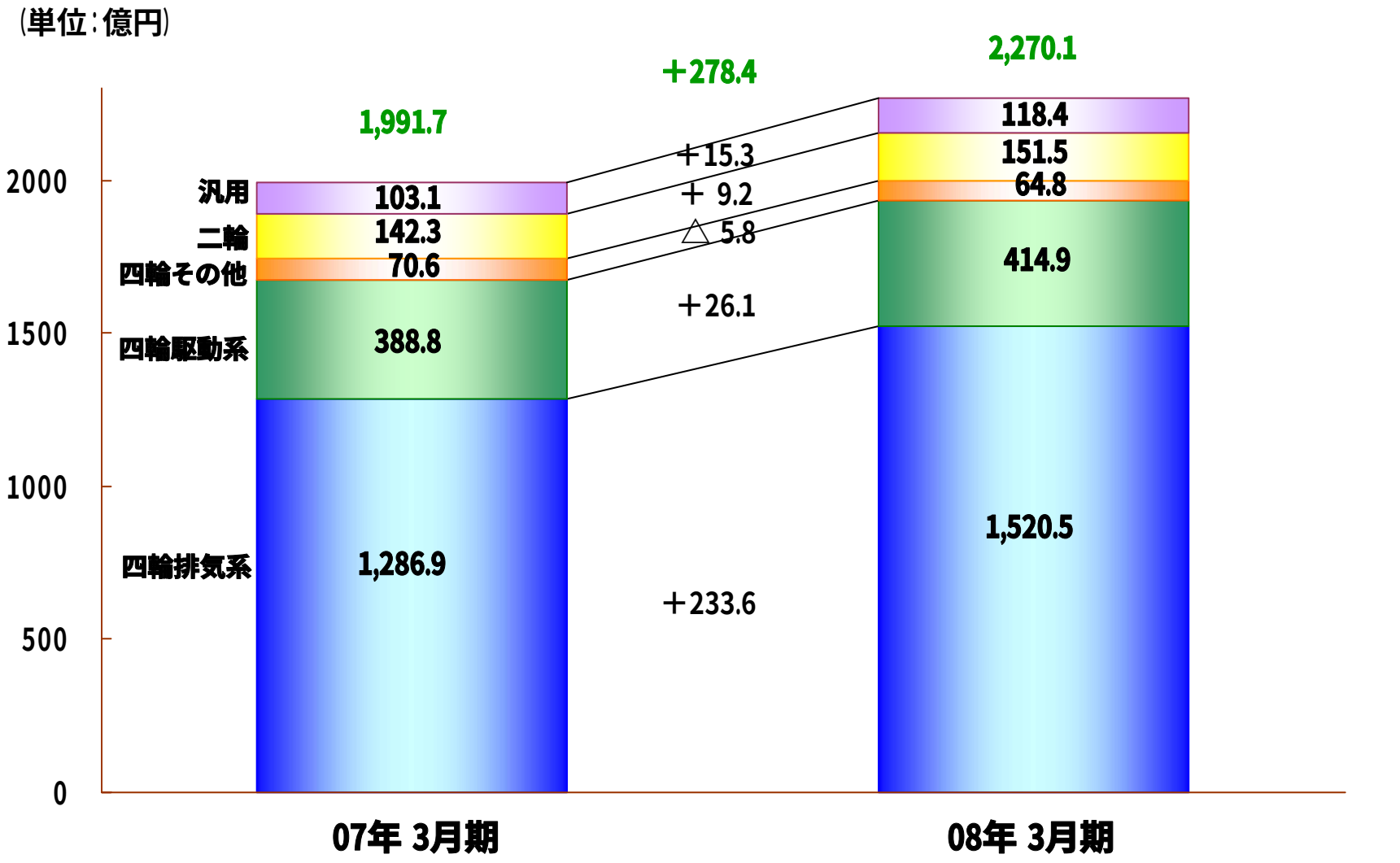
08年3月期決算概況 ＜連結＞　地域別売上高 (キャタリスト抜き)

(単位：億円)



キャタリスト抜きでも、全地域で増収

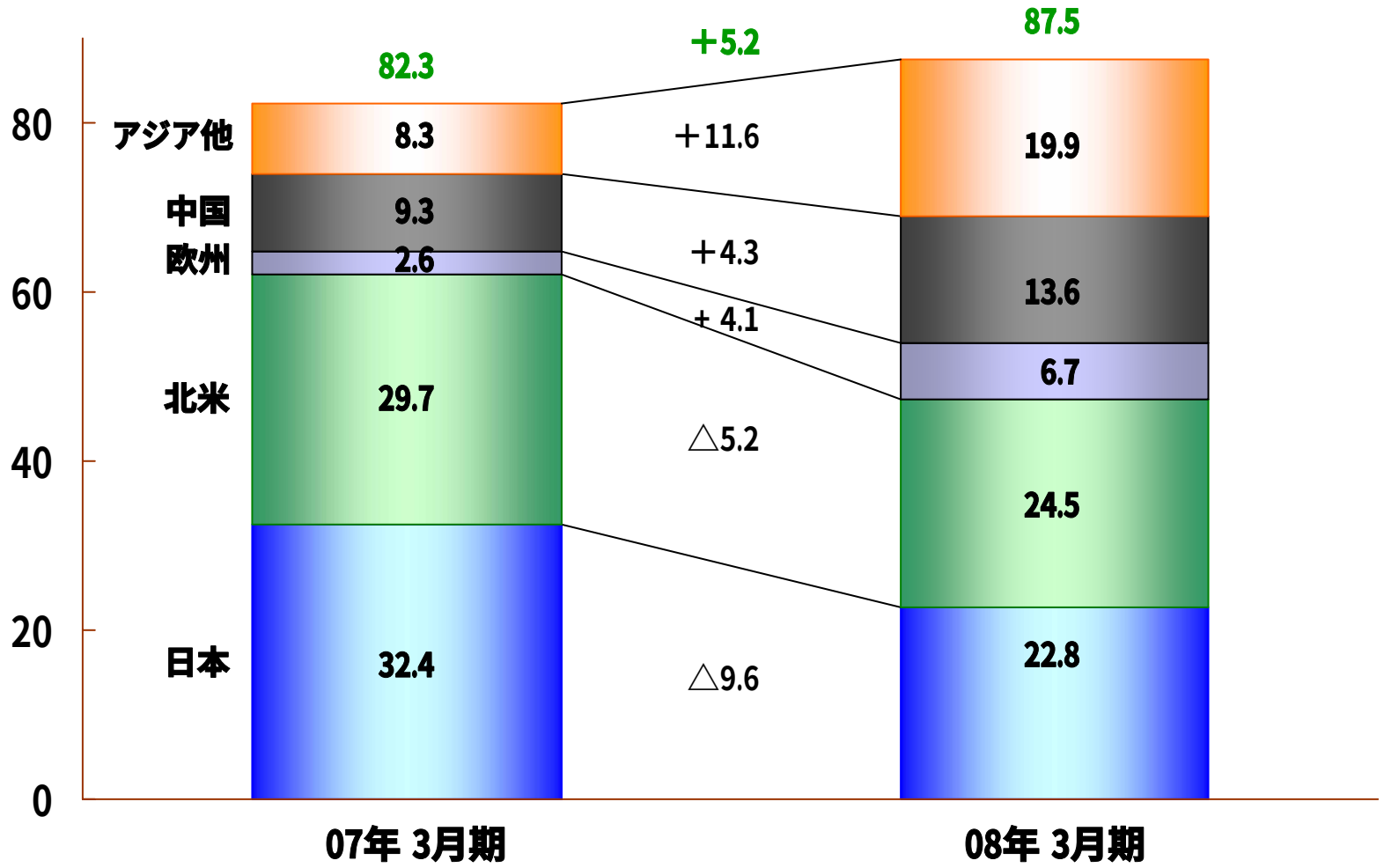
08年3月期決算概況 ＜連結＞ 製品別売上高



四輪排気系の増収が大きく寄与

08年3月期決算概況 ＜連結＞　地域別営業利益

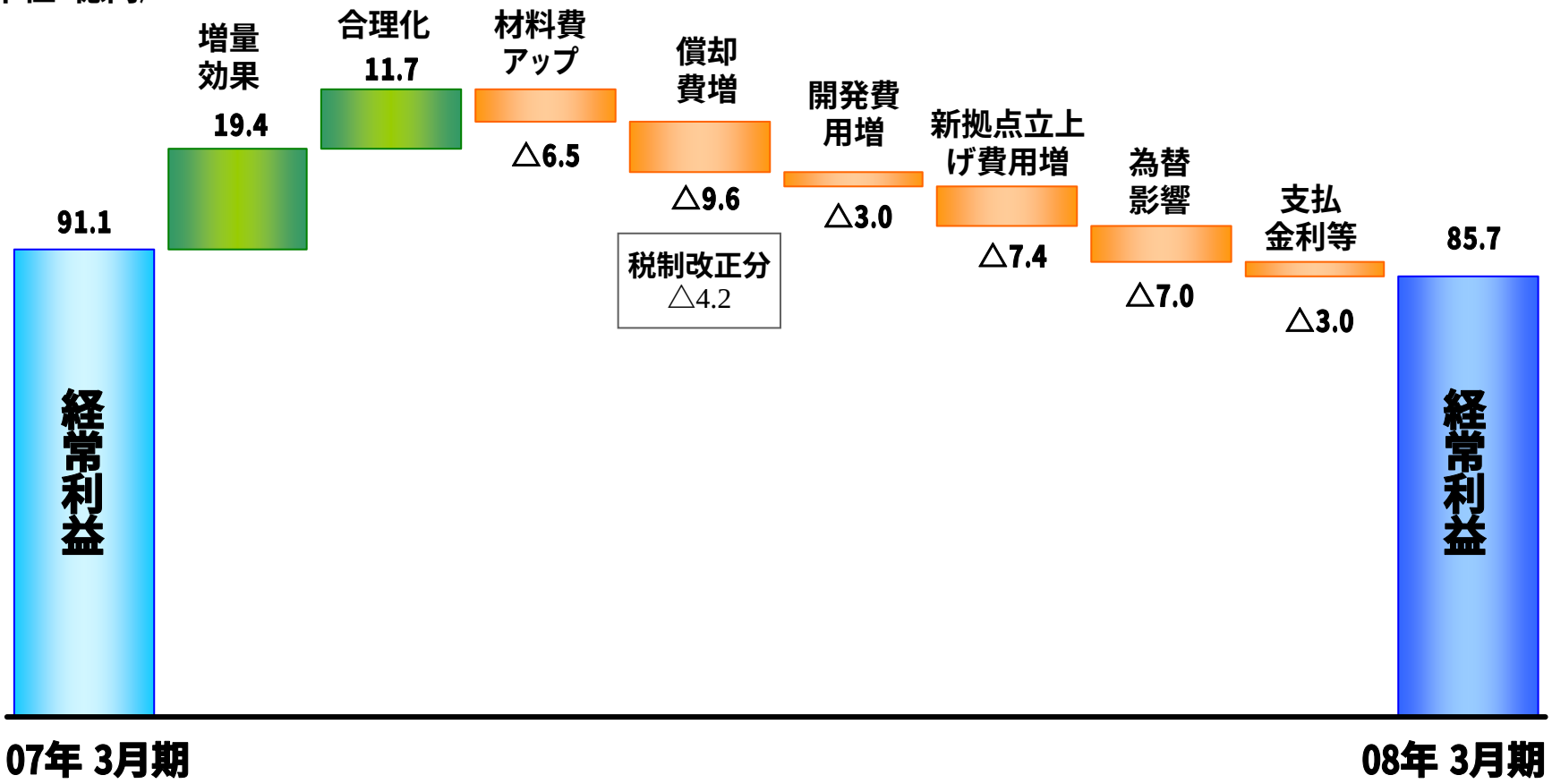
(単位：億円)



日本、北米の減少をその他の地域でカバーし増益

08年3月期決算概況 ＜連結＞　経常利益 増減要因

(単位：億円)



増量と合理化効果があったものの、為替影響で減益

YUTAKA

2009年3月期

見通し

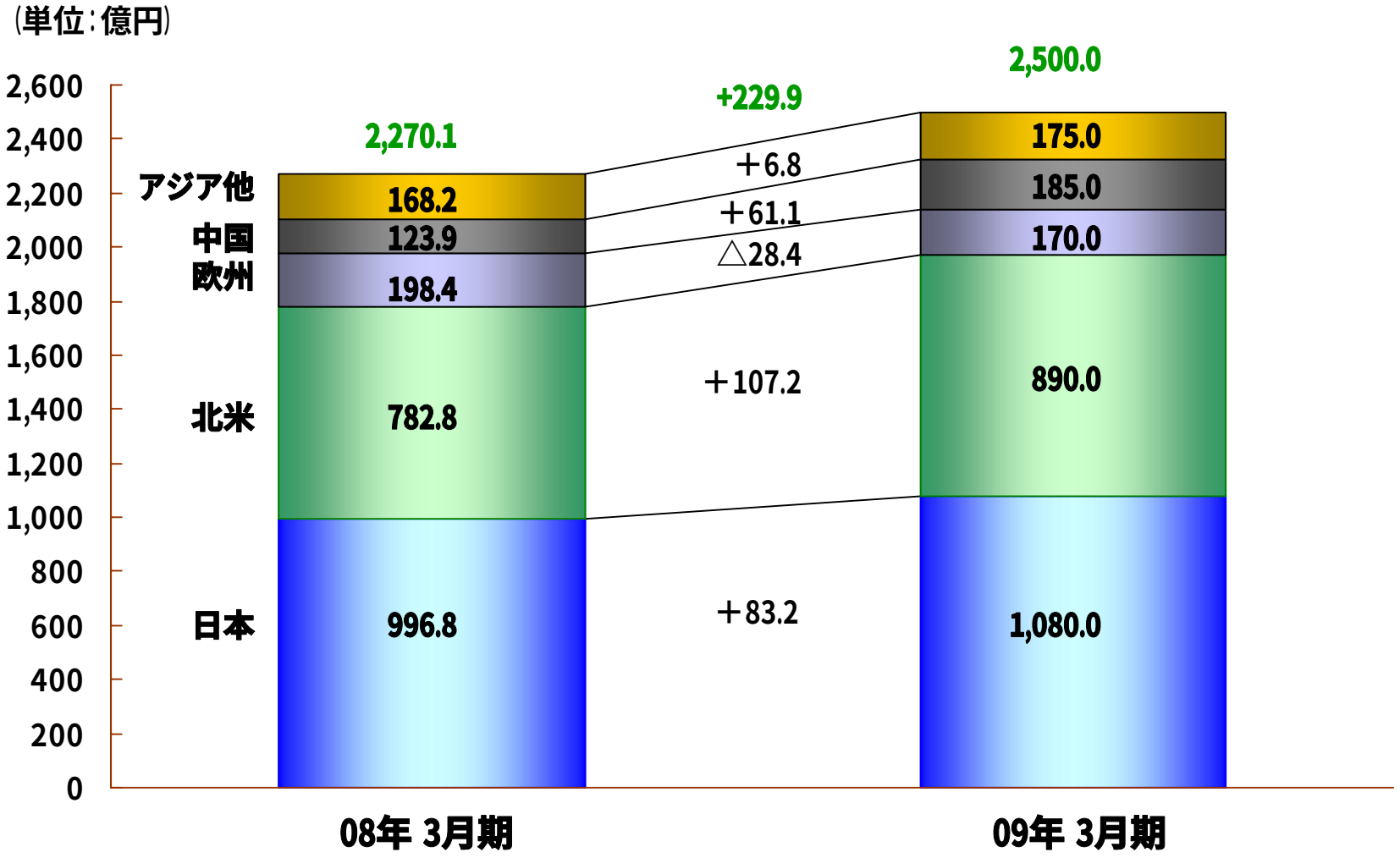
09年3月期見通し ＜連結＞

(単位：億円)

	08年 3月期	09年 3月期	前期比
売上高	2,270.1	2,500.0	10.1%
営業利益	87.5	102.0	16.5%
経常利益	85.7	97.0	13.1%
当期純利益	45.4 ＊製品補償費用 △5.8億円含む	50.0	10.0%
1株当り当期純利益	307.20円	337.74円	9.9%
1株当り配当金	34.0円	38.0円	+4円
	($1=\112)	($1=\105)	

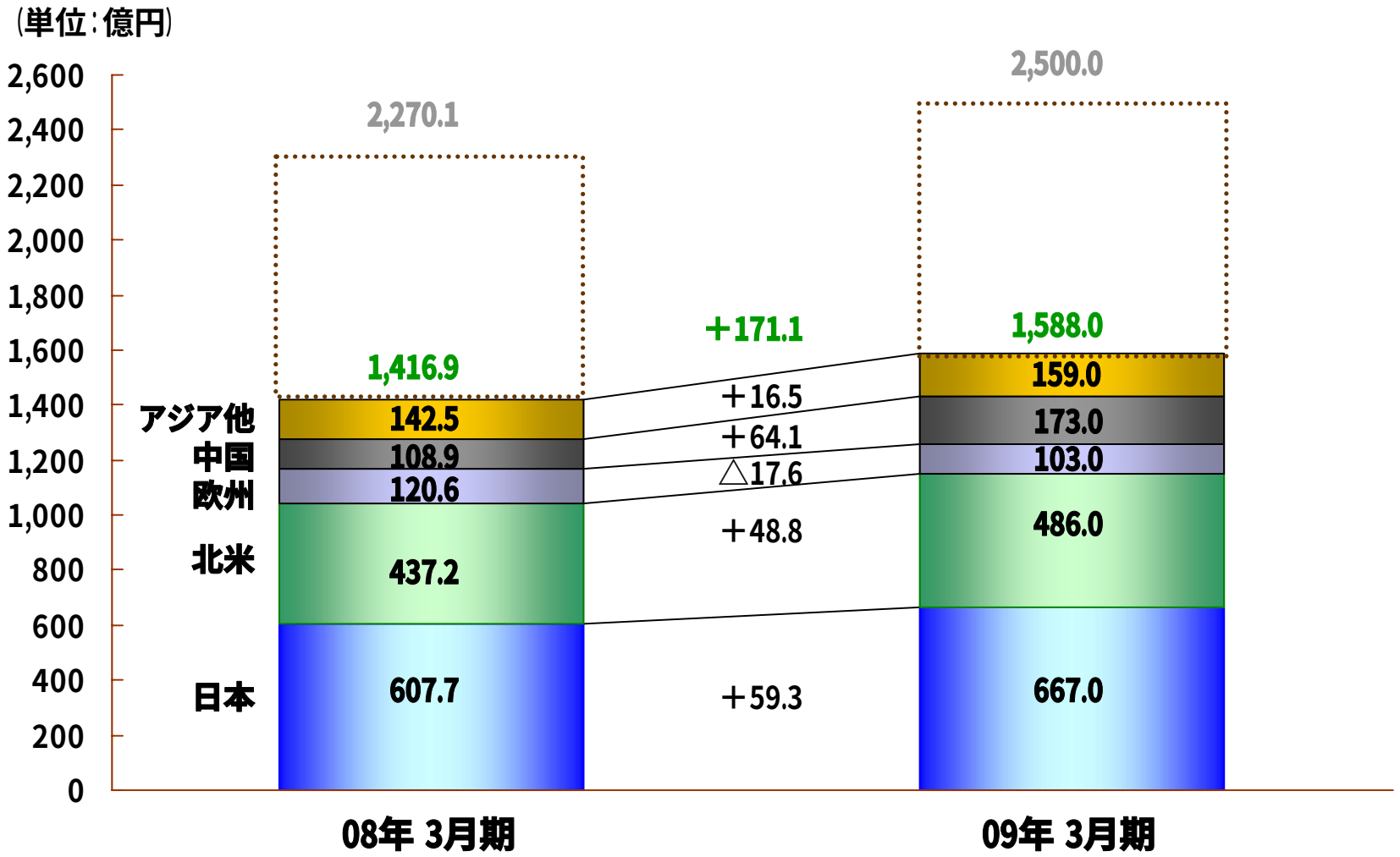
売上高、営業利益及び経常利益で過去最高の見通し

09年3月期見通し ＜連結＞　地域別売上高



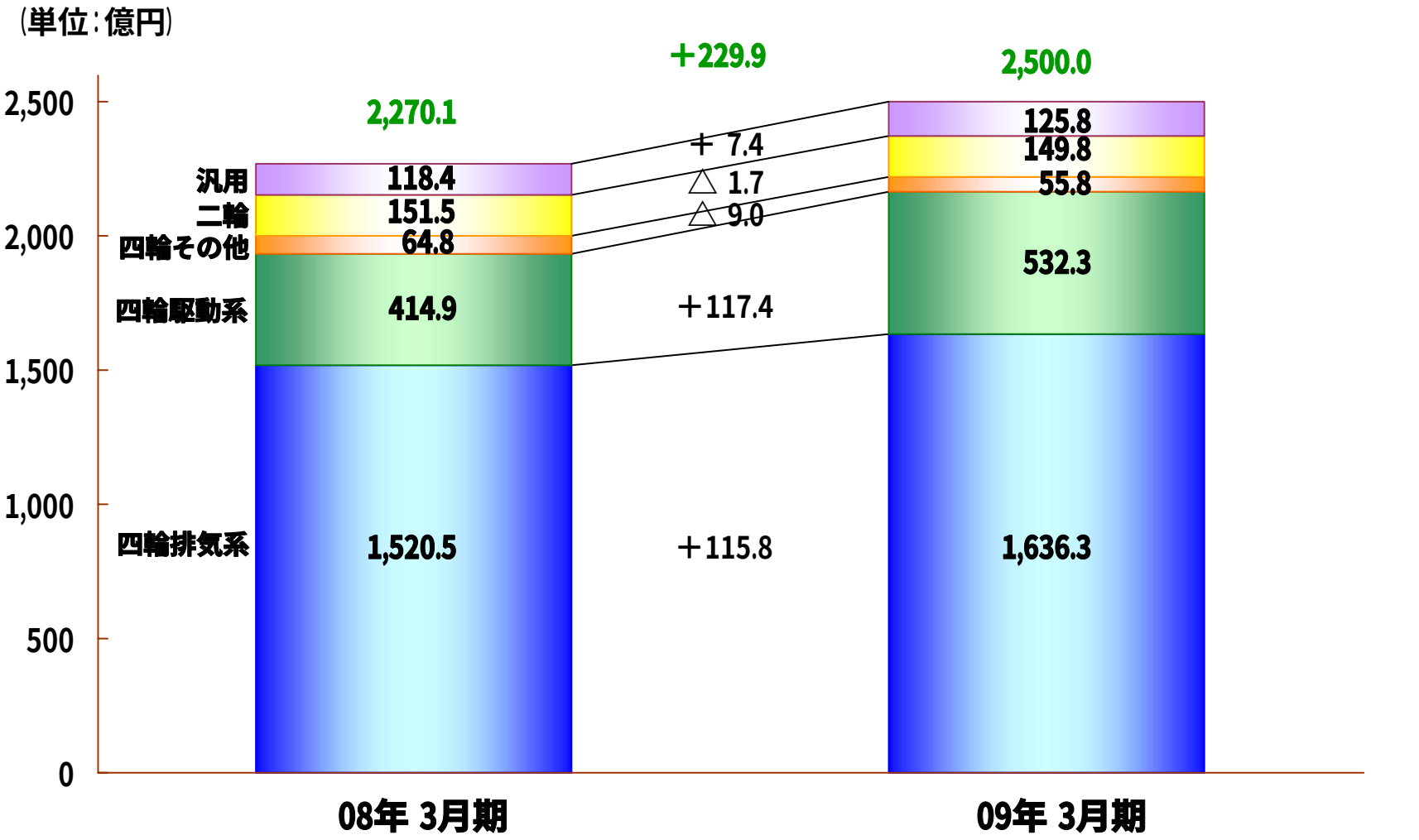
欧州を除いた全地域で増収

09年3月期見通し ＜連結＞　地域別売上高 (キャタリスト抜き)



キャタリスト抜きでも増収

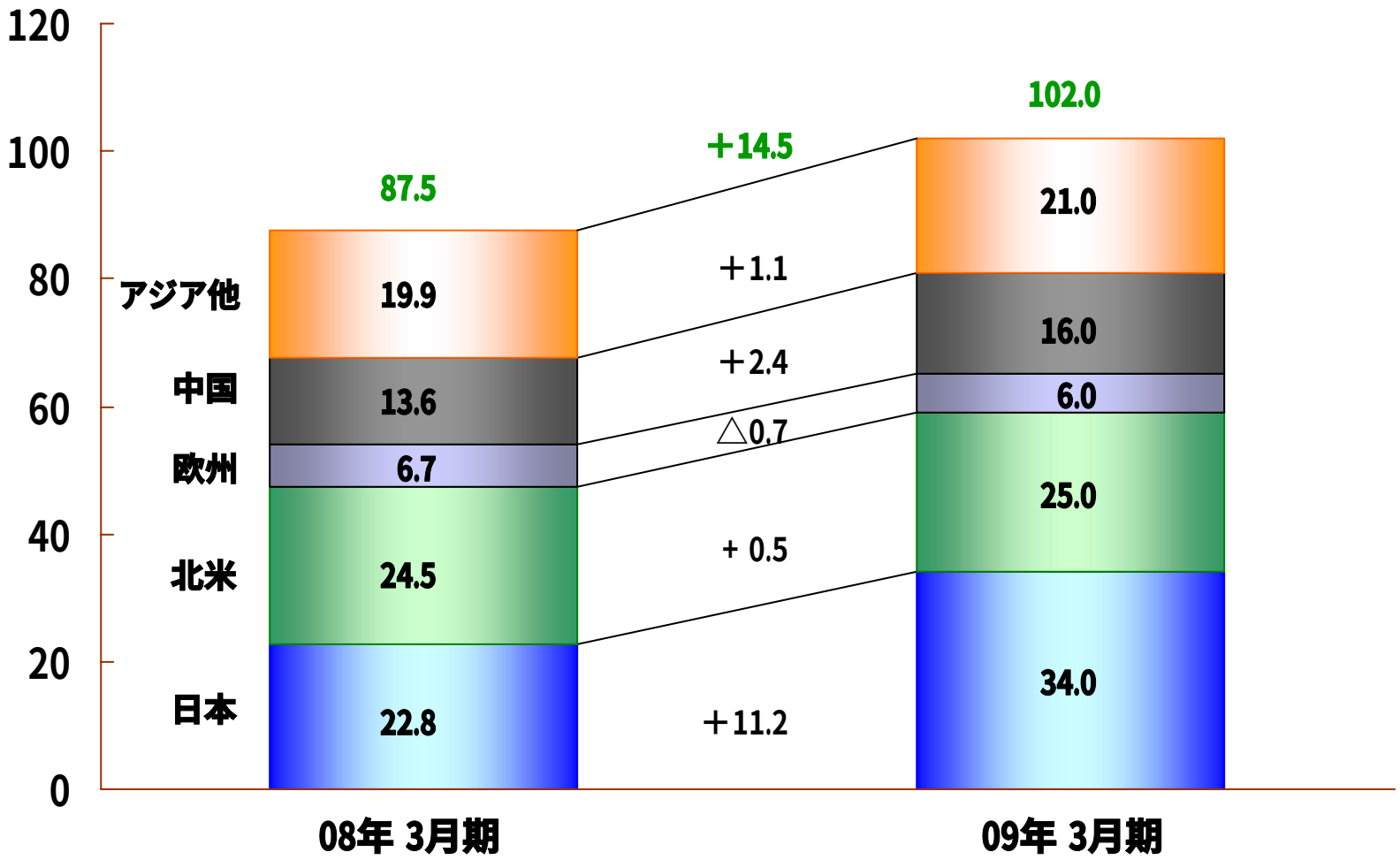
09年3月期見通し ＜連結＞ 製品別売上高



四輪排気系・駆動系を中心に増収

09年3月期見通し ＜連結＞　地域別営業利益

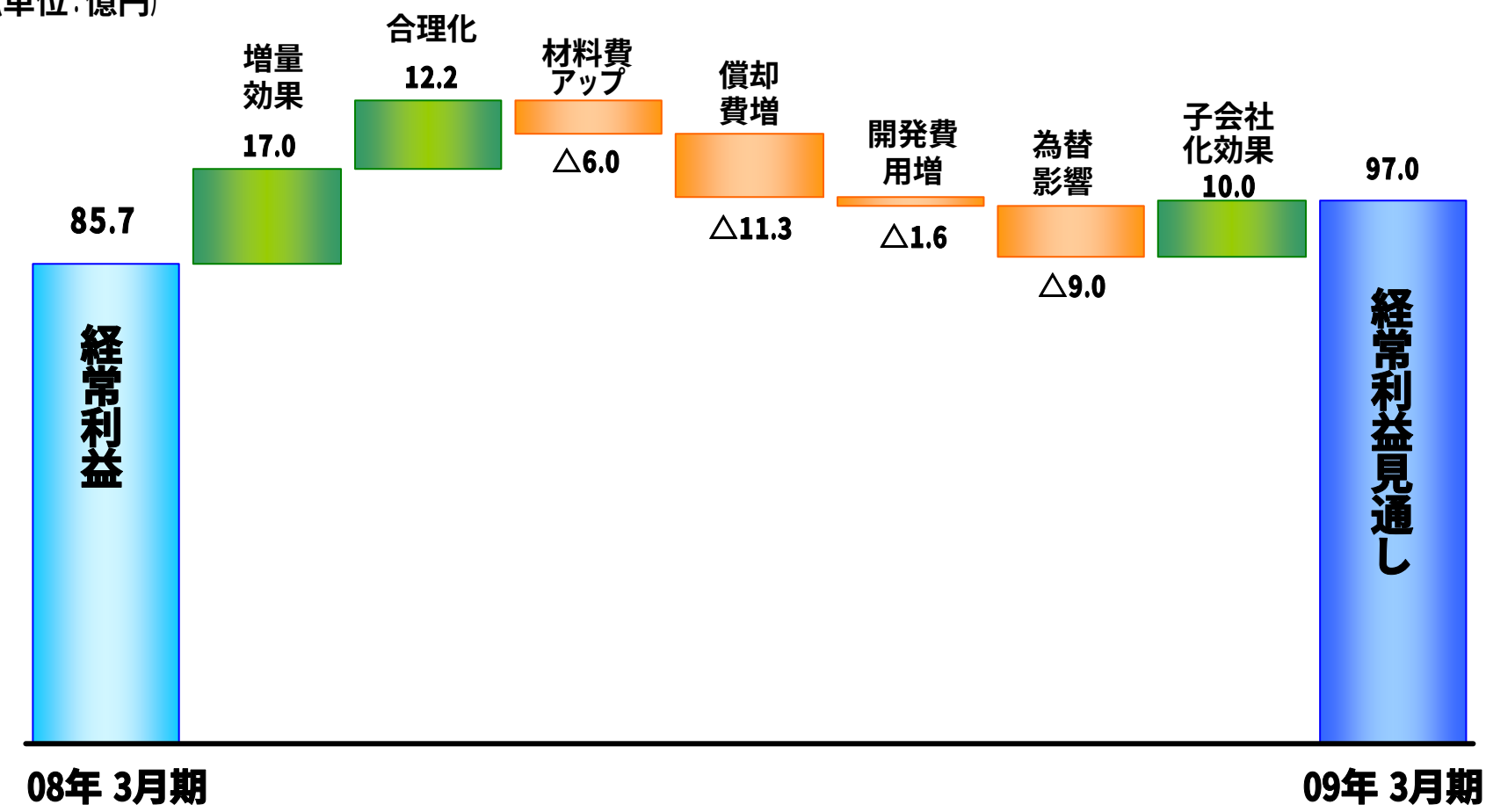
(単位：億円)



日本と中国を中心に増益

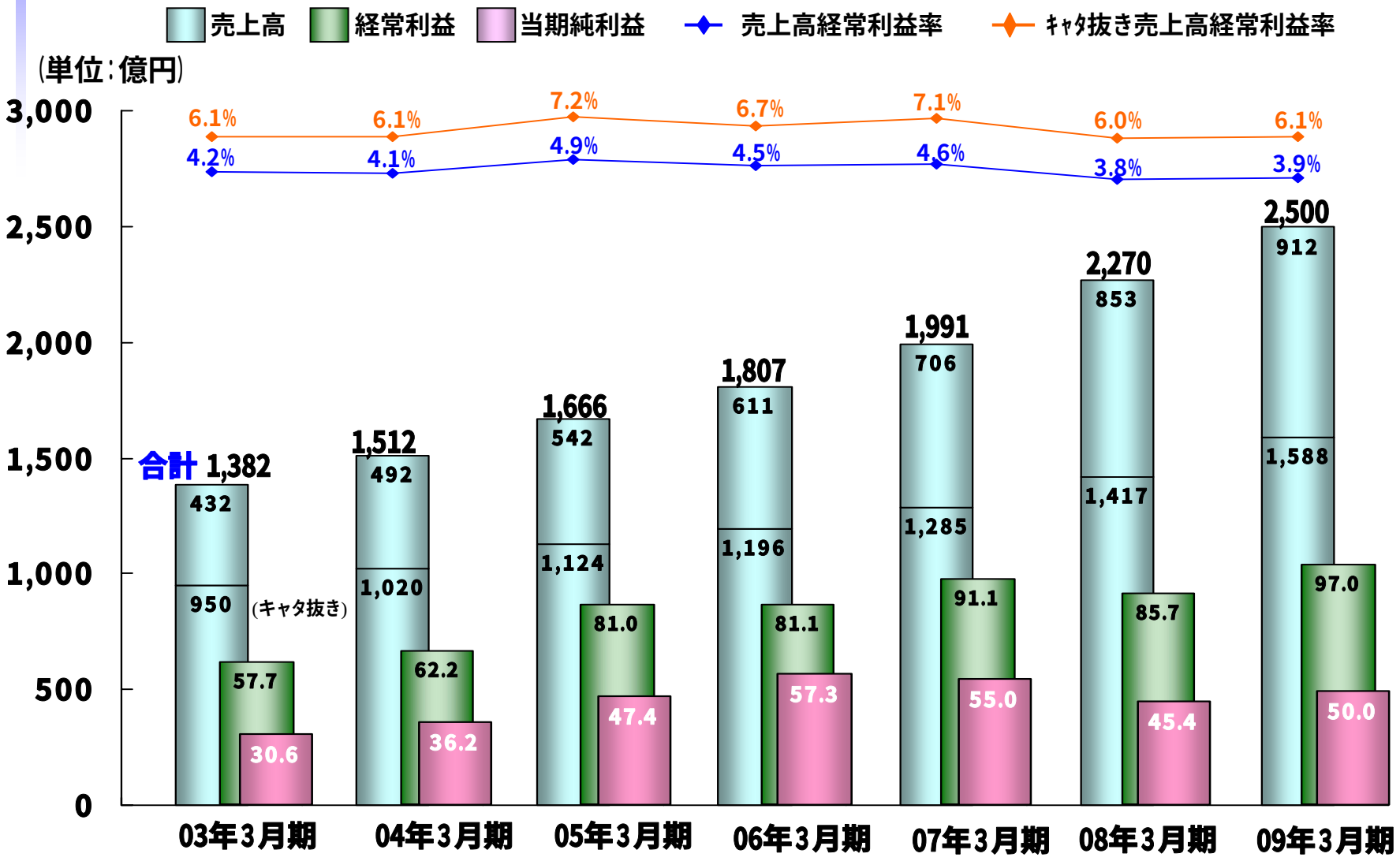
09年3月期見通し ＜連結＞　経常利益 増減要因

(単位：億円)



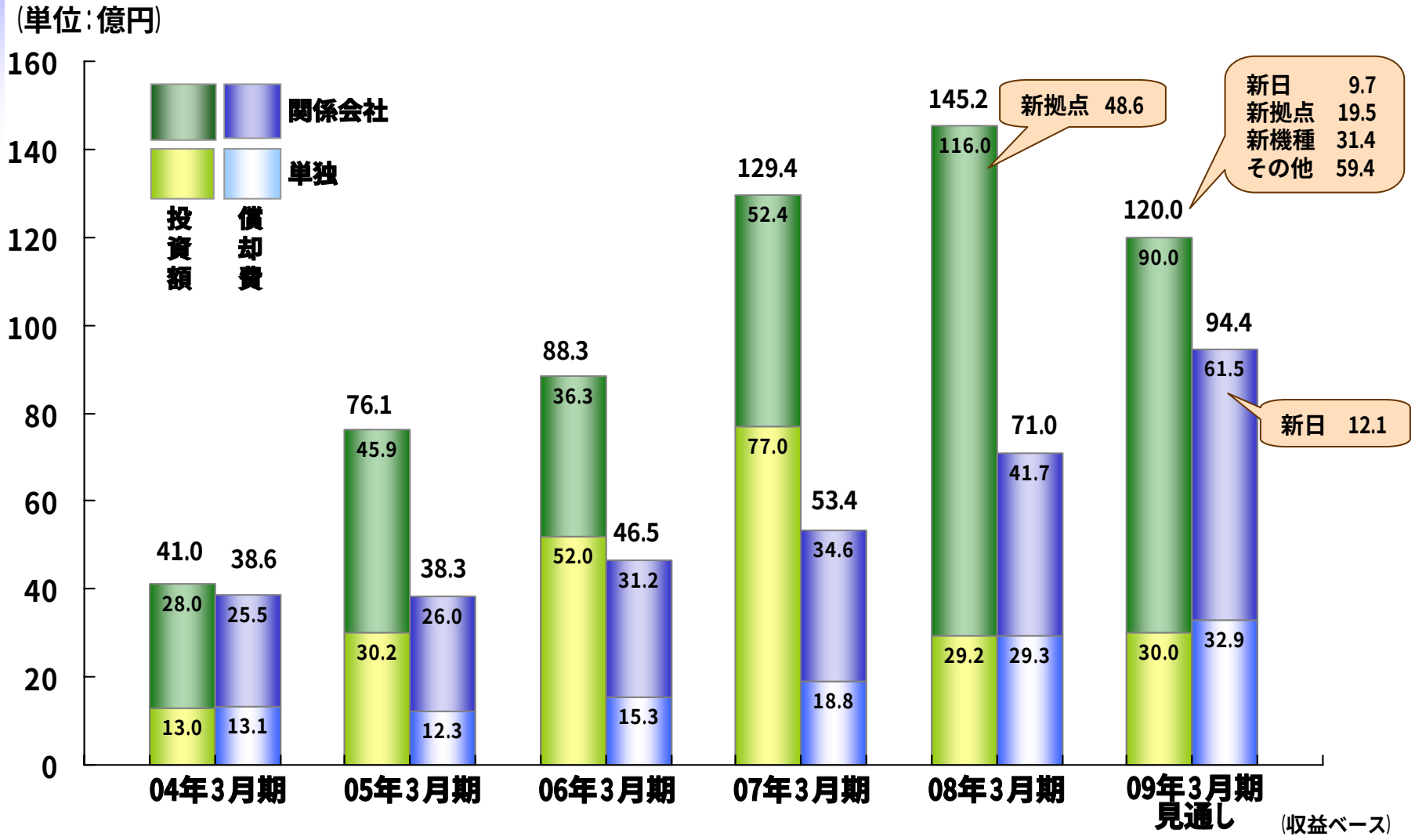
子会社化効果を除いても増益の見込み

09年3月期見通し ＜連結＞ 売上及び利益の推移



09年3月期は再び増益となる見通し

09年3月期見通し ＜連結＞　設備投資額の推移



新拠点投資は一区切りしたが、新機種･開発投資を継続

その他 事業状況

新日工業の子会社化について

新日工業の子会社化について

新日工業株式会社概要

＜本社＞　愛知県蒲郡市浜町88番地

＜設立＞　1963年（昭和38年）

＜従業員＞　252名

＜生産品目＞　自動車用トランスミッション部品
トルクコンバータ部品など

＜売上＞　108億円

＜株主構成＞

株式会社ユタカ技研	49.0 %
本田技研工業株式会社	11.0 %
その他	40.0 %

＜主要取引先＞　本田技研工業株式会社・株式会社ユタカ技研
株式会社デンソー・いすゞ自動車株式会社
川崎重工業株式会社

＜国内拠点＞　本社・浜町工場（愛知県蒲郡市浜町）
三谷工場（愛知県蒲郡市三谷）
御津工場（愛知県豊川市御津町）

＜海外拠点＞　YS Tech Co.,Ltd.（タイ：ユタカ65%,新日工業35%出資）

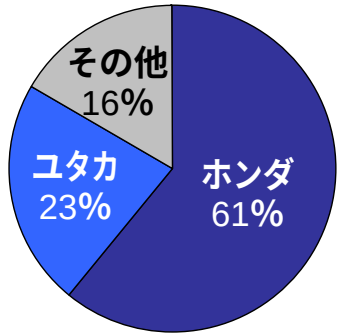
（数字は2008年3月末時点）



トルクコンバータ部品　ミッション部品　燃料噴射装置部品



売上構成



新日工業の子会社化について

子会社化の狙い

- ユタカ向けトルクコンバータ用主要部品のハブなどを生産
- 合弁会社YS Tech (タイ) においてトルクコンバータ部品を生産
- 北米子会社CYTにおいても、新日の技術提供によりトルクコンバータ部品の生産を準備中

ユタカビジネスとの一体化

- 開発力の強化
- 生産体質の強化
- ビジネススピードの向上

新日工業の子会社化について

ユタカ連結財務諸表への影響

	2008年3月期 (実績)	2009年3月期 (計画)	増減
売上高	0	72.9 億円	72.9 億円
営業利益	0	14.0 億円	14.0 億円
経常利益	3.2 億円	13.2 億円	10.0 億円
純利益	3.2 億円	4.8 億円	1.6 億円
投資	0	9.7 億円	9.7 億円

第10次中期計画について

第10次中期計画について

9次中期の基盤づくり　＜国内拠点の再編＞

製品別工場として、生産とマザー力を強化するための国内製作所再編が完了

拠点		豊製作所	嵐山製作所	三重製作所	高丘製作所
四輪車用	駆動系	●			
	排気系		●	●	
二輪車用	制動系 排気系				●

本社･豊製作所



駆動系製品

嵐山製作所



排気系製品

三重製作所



排気系製品

高丘製作所



制動系製品

第10次中期計画について

9次中期の基盤づくり　＜海外拠点の再編＞

お客様の変化に対応し、新拠点の設置や生産能力の拡大など、各拠点の再編が完了

地域		北米			南米	欧州	アジア・大洋州					中国			
拠点		CYT	SCYT	ACYT	YDB	UYS	YMPI	YST	YMI	YAI	YAP	CJF	CFF	CFY	WJF
四輪車用	駆動系	●		●				●						●	
	排気系	●		●	●	●		●	●	●	●		●		●
二輪車用	制動系他		●				●		●			●			

CYT



ACYT



UYS



YST



YAI



CJF



CFY



SCYT



YDB



YMPI



YMI



YAP



CFF



WJF



オレンジは9次中期新拠点

第10次中期計画について

9次中期の基盤づくり　＜開発と技術の強化＞

開発機能の集約と設備強化、海外支援推進など、開発と技術を強化

- 浜松･栃木の研究所を統合集約
- 主幹製品の開発設備増強
- 海外支援推進体制の整備
- 開発･生技･営業のワンフロア化







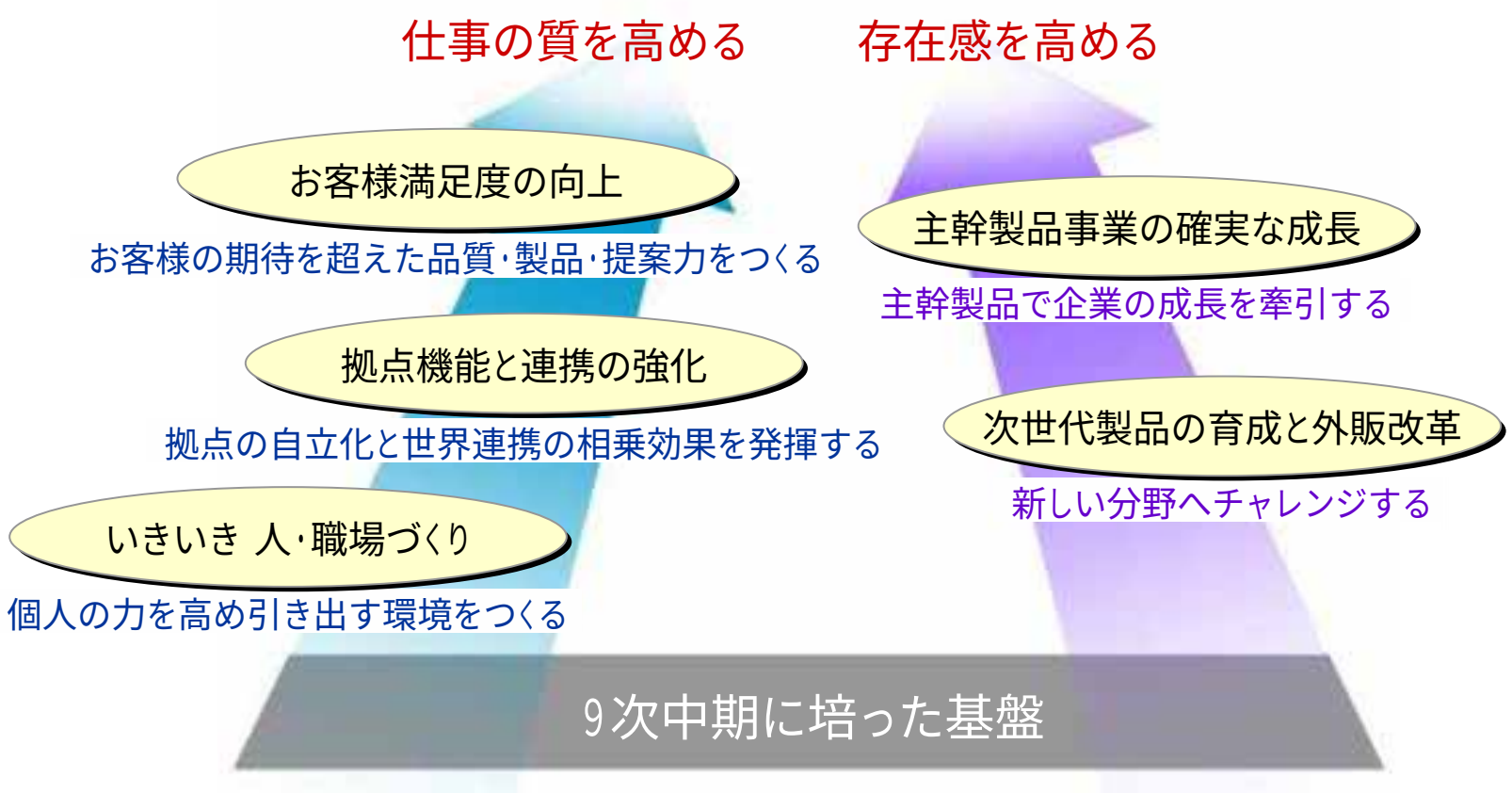




第10次中期計画について

第10次中期展開

● 世界の各地域において、他社をリードする競争優位性を持つ
● 培ってきた基盤を最大限に活かし、世界各地でお客さまに貢献する



第10次中期計画について

第10次中期展開施策

CYT（アメリカ）における事例

お客様満足度の向上

＜お客様への提案力強化：開発の自立化＞

- 北米専用モデルの排気系製品を自前検証
- 開発インフラの強化
- 開発体制、要員の強化



テストベンチ



無響室

拠点機能と連携の強化

＜拠点機能の強化：新日工業トルクコンバータ部品の現地生産＞

- 更なる生産体質の強化
- 為替や生産のリスク低減
- 新日との共創による生産設備導入



トルクコンバータ部品



加工設備

第10次中期計画について

第10次中期展開

＜投資＞　・新拠点は一区切り
・各拠点の体質向上に向けた投資実施
・新機種投資、開発投資は引き続き強化

100億円前後の投資を継続

＜収益＞　9次中期の基盤を活用し増収・増益を目指す

投資効果の発生時期

	2008年度	2009年度	2010年度
国内関連会社の子会社化	○		
中国トルクコンバータ会社	○		
アラバマ新拠点	→	→	○
インド新拠点	→	→	○
ブラジル新拠点	→	→	○


YUTAKA
Clean for the Future